

EP8000シリーズに、高性能とコンパクトさを兼ね備えたPOWER4プロセッサ搭載のエントリーモデルが登場!

インターネットをベースとしたビジネスの急速な拡大に伴い、より高い処理性能、高信頼・高可用性、高度なサポートサービスなど、オープンサーバへの要求が一段と高まっています。日立はこのたび、UNIXオペレーティングシステムAIX 5Lを搭載した「エンタープライズサーバEP8000シリーズ」に、最新のPOWER4プロセッサを最大4個搭載可能なエントリーモデル「EP8000 630」2機種を新たに投入。高信頼・高可用性を実現するソフトウェアとサポートサービスも一段と強化しました。これにより、オープンプラットフォーム環境でミッションクリティカル業務を任せられる「EP8000シリーズ」に、ハイエンドから、エントリーまで、POWER4搭載モデルのラインアップがそろいました。



EP8000 630 model 6C4

EP8000 630 model 6E4

メインフレームで培った高信頼設計を適用した新世代エントリーモデル

EP8000 630は、2001年にスタートした日立とIBMとの戦略的アライアンスのもとで、日立が開発し、生産分担する最初のサーバとなります。EP8000 630は、現行のハイエンド/ミッドレンジモデルに搭載されている世界初の64bitマルチプロセッサチップPOWER4と、日立が開発した高速大容量のレベル3キャッシュメモリの連携による高い実効性能を実現。1.0GHzのPOWER4をSMP(Symmetric Multi-Processor)構成で最大4プロセッサまで搭載することができ、大容量キャッシュメモ

リとの組み合わせにより、現行のエントリーラックmountモデル「EP8000 640 model B80」に比べ、約1.3~2倍の処理能力向上を実現しています。

また、日立の世界最高水準の高密度実装技術により、ラックmountモデルEP8000 630 model 6C4は高さ約18cm(4EIA:1EIAは約44.5mm)で、標準ラック筐体に最大9台を搭載可能。タワーモデルEP8000 630 model 6E4も、300×725×530[W×D×H:mm]のコンパクト設計で、オフィス内での置き場所を選びません。

さらにEP8000 630は、日立が長年メインフレームで培った高信頼設計技術や、冗

長構成に対応した電源および冷却ファン、ホットスワップ可能な内蔵ディスクやPCIスロットなど、ハイエンドモデルと同等の高信頼・高可用機能を備え、ブロードバンド時代のミッションクリティカルシステムとして幅広くご利用いただけます。

例えばWebサーバやAPサーバとしては、4EIAのコンパクトな筐体をラックに多数搭載することで、システム処理性能をスケラブルに拡張可能。トラフィックの増加や性能アップへのニーズに応じて、システムを柔軟に拡張することができます。またHA(High Availability)モニタを組み合わせたHA構成も可能なため、本格的なDBサーバとしても活躍。この場合、実行サーバ、待機サーバ、共用ディスク装置、UPSなども1ラックに収容できるため、省スペース性に優れたHA構成システムが実現します。

HA環境で世界最高速クラスの切り替えを実現するHAモニタ、HA Booster Pack for AIX(日立AIX専用)

インターネットを利用したビジネスの本格化に伴い、情報システムの重要度はますます高まっています。金融取引、証券取引はもとより、インターネットを介した電子商取引などにおいて、たとえ数分であってもシステムのダウンは企業にとって大きな損失となります。また、信用の失墜に

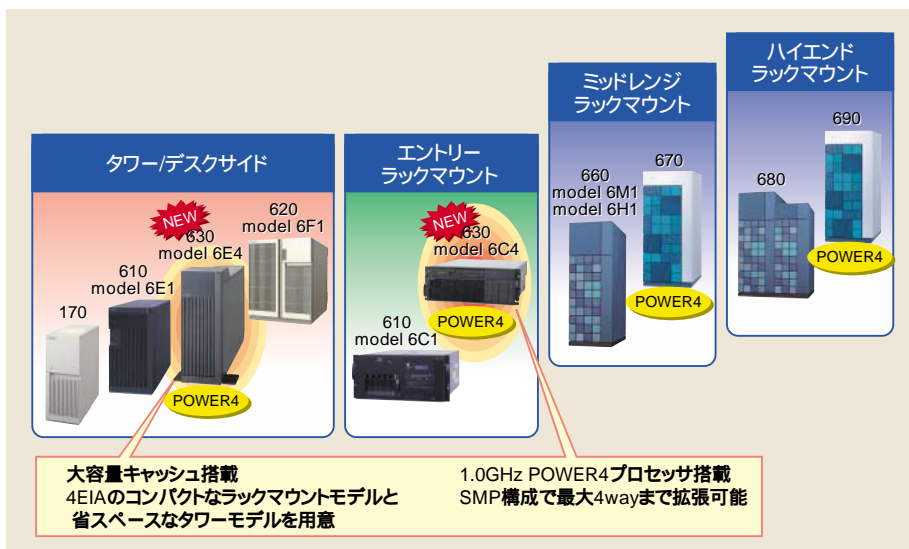


図1 EP8000新ラインアップ タワー、エントリーからハイエンドまでPOWER4搭載サーバをラインアップ

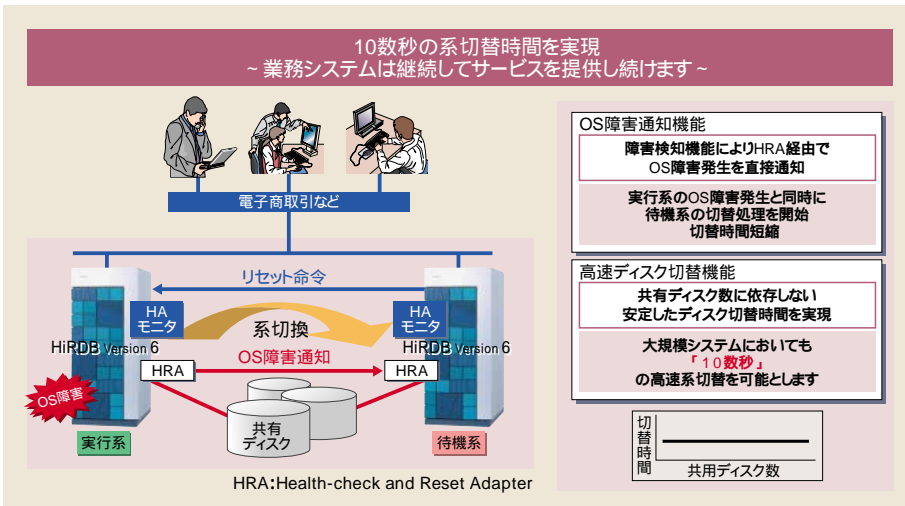


図2 世界最速クラス系の系切替

も繋がりがかねません。

今回EP8000シリーズでは、HiRDB、HA モニタを利用したホットスタンバイ構成において、実行系システムのOS障害発生と同期した待機系システムへの切替通知機能を実現するHAモニタの強化版や、実行系から待機系システムへの共有ディスク切り替えを高速化する「HA Booster Pack for AIX」を新たに提供します。これにより、従来は数十秒程度必要だったシステム切替処理時間を、わずか10数秒に短縮し、ミッションクリティカル業務において業務を停止することなく継続することが可能です。主な機能は、次のとおりです。

OS障害通知機能

従来のHA環境では、ハートビートのタイムアウトが発生するまで障害を検知することができず、その検知時間分待機系への切り替えに時間がかかっていました。しかしHA モニタを適用すれば、実行系と待機系の双方にセットされたHRA(Health-check and Reset Adapter)経由で、OS障害発生をダイレクトに通知。障害機へのリセット命令を瞬時に実行し、実行系OSの障害発生と同時に待機系への切り替え開始を可能とすることで、系切替時間を短縮します。

高速ディスク切替機能

これまでシステム切り替えの後に待機系がサービスを開始するには、100VG(ボリュームグループ)以上の大規模なDBサーバの場合、数十秒のオーダが必要でした。しかしHA Booster Pack for AIXを適用すれば、時間がかかる共有ディスク装置の切替処理の高速化が可能となり、ダウンした実行系から10秒程度で待機系への切り替えが可能となります。共有ディスク数が増加しても処理時間は一定のため、システム規模に依存しない安定した系切替を実現します。

サポートサービスを柔軟に選択可能に

従来、「シルバー」「ゴールド」「プラチナ」といったグレードのサービスセット商品とオプション商品との組み合わせで提供していたサポートサービスメニューを、このたびシステム運用に必須の「ベーシックサポートサービス」と、高度サポートサービスを実現する「オプション商品群」に整理統合。高度サポートサービスと、その時間帯選択については、お客さまのシステムにフィットした形で自由に選んでいただけるカフェテリア形式としました。また、従来の「ゴールド」「プラチナ」同等のセット商品についても継続してご提供します。

さらに、ベーシックサポートサービスでは、これまでオプションだった「更新版提供」「問題解決メディア提供」「予防保守メディア提供」の各メニューをすべて標準セット化。お客さまのシステム運用に必須のサポートサービスを、よりリーズナブルな価格でご提供します。これらのサービスメニュー拡充により、お客さまのシステムに応じて柔軟なサポートサービスの利用が可能となりました。

OS対応のベーシックサポートサービスでは、バージョンアップ版はオプションとなります。

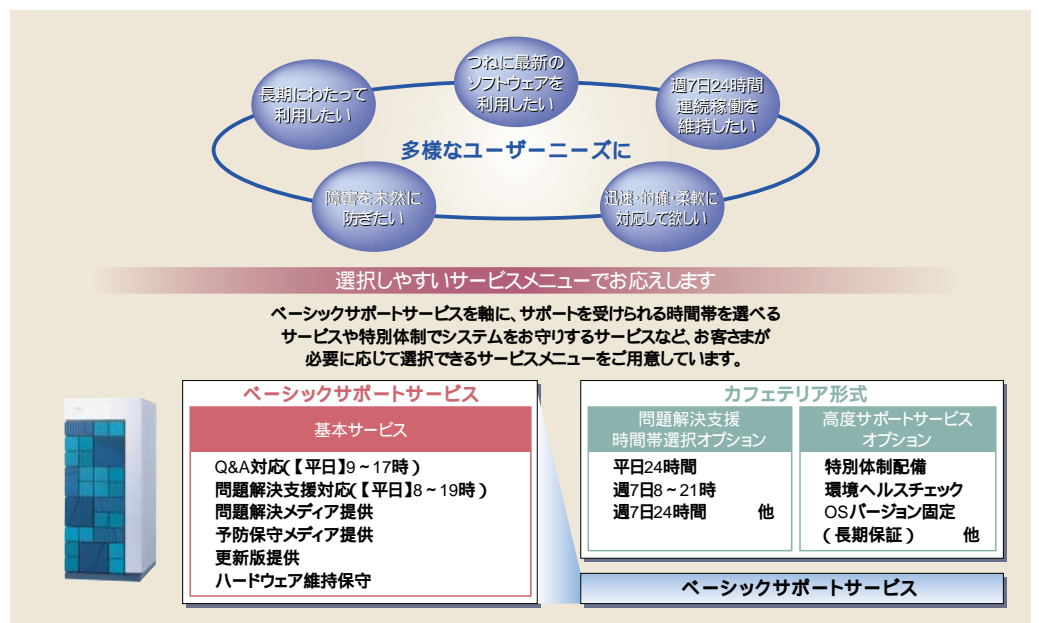


図3 EP8000サポートサービス

お問い合わせ先

(株)日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 販売企画センター
TEL(03)5471-8902 FAX(03)5471-8994

情報提供サービス

http://www.hitachi.co.jp/EP8000